



高花平だより

2018. 1. 26
第 20 号

四日市市立高花平小学校

「史上最強寒波」の襲来により大雪警報が発表され、1月25日（木）は臨時休校となりました。「本日は平常授業を行います」という内容の「すぐメール」を発信しようとしていた矢先の「大雪警報」の発表でした。急遽、「臨時休校」と打ちかえて、午前7時にメール発信した次第です。昨年のおおゆきへの対応の反省から、今年から四日市市では、「大雪警報が発表された場合は休校」、「警報が発表されていない場合でも積雪が20cmを超えた場合は休校とする場合がある」という対応になりました。今後も降雪が予想される場合には、気象情報にご注意をお願いします。

め う ひなんくんれん 抜き打ちの避難訓練

1月15日（月）に避難訓練を実施しました。この避難訓練は、先生が身近にいない休み時間に地震が発生し、緊急地震速報が流れたときの行動の仕方を訓練することが主な目的です。休み時間に緊急地震速報が流れた時、子どもたちはいろいろな場所にいました。運動場にいた子、げた箱の前で靴を履きかえようとしていた子、階段を下りていた子など様々です。その場で、自分ひとりでどう動くのが安全かを判断しなければならないのです。運動場で遊んでいた子どもたちは、緊急地震速報が流れた瞬間、しゃがみこんで姿勢を低くする子たちと避難時の集合場所に向かって歩いたり走ったりする子たちに分れました。「緊急地震速報が流れたら、自分がいる場所によって身を守る方法は違います。運動場にいる場合は、地震の揺れで倒れて怪我をするかもしれないのでしゃがむのが正解です。でも、同じ運動場でも近くにサッカーゴールなど倒れやすいものがある場合は、その下敷きになるかもしれないので、急いで離れなければなりません。自分のいる場所によって、避難の方法は違います。どんな避難の方法がいいか判断して行動できるようになりましょう。」避難訓練のまとめでこのような話をしました。



なわとびタイム

冬の体力づくりのために、20分休みに「たてわり班」で長なわ跳びを行っています（1月31日まで）。「八の字とび」や「大なみ小なみ」などに挑戦しています。寒さを吹き飛ばすような、はじける笑顔で跳んでいる子どもたちの姿が印象的です。また、高学年の子が、低学年の子にやさしく跳び方を教えている姿もほほえましく感じます。なわ跳びは、あまり場所をとらずに手軽にできるよい運動です。個人でも、いろいろな技に挑戦して楽しみながら体力づくりをしてほしいと思います。

とくべつし えんがつきゅうがくしゅうはっぴようかい 特別支援学級学習発表会

1月19日（金）、四日市市文化会館で特別支援学級学習発表会があり、三泗小中学校の特別支援学級に在籍している子どもたちが、学校ごとに劇や楽器演奏、表現運動などの学習発表を行いました。本校の演目は「高花っ子まつり」。「ともだち学級」の子どもたちは、手作りのお神輿をかついで、「おみこしワッショイ、ワッショイ、ワッショイ」と元気なかけ声を出して舞台上を練り歩きました。どの子も緊張していましたが、舞台上では精いっぱい演技ができ、終わったときはどの顔も満足感であふれていました。

